

進化長崎!!

特集

市政

長崎市民

プレゼント

生活情報

健康

子育て

福祉税

被爆者援護

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

将来にわたって活力ある長崎を目指して

【問い合わせ】長崎創生推進室 ☎ 29・1355

人口減少に歯止めをかけて、住みやすく魅力的なまちをつかっていくためには、地域の特色や資源を活かした取り組みが大切です。長崎は、開港以来、交流の都市として発展し、歴史、文化や自然など他の都市にはない豊かな地域資源に恵まれています。

人口減少の克服と長崎が成長するために策定した「長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、長崎市の強みである「交流」をうまく活かして、稼ぐ力を生み出すための取り組みを特徴として掲げています。

3回シリーズの2回目では、この「交流」を活かした取り組みを紹介します。

長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

■次のとおり目標を定めています。

- ▶ 「長崎創生」(地方創生)に向けて、「人」の交流によって経済を活性化して、市民が活躍できる新たなしごとを生み出す「交流の産業化」を通じた定住促進を目指しています。

「交流の産業化」とは…

長崎のまちには、世界遺産登録やクルーズ客船の増加により多くの観光客が訪れています。この好機をとらえて、まちの魅力を国内外に発信して、さらに人の交流を生み出し、稼ぐ力を伸ばすことで、「人を呼んで栄えるまち」を目指していこうというものです。市外からの人の交流による消費が、人口の減少に伴う消費縮小を補って、雇用の創出と所得の向上を図り、定住につなげます。

- ▶ 「人口減少対策」に向けた取り組みとして、暮らしに密着した4つの目標を掲げています。

目標値

(平成26年→31年)

【観光客数】

630.7万人
→ 695.0万人

【観光消費額】

1,243億円
→ 1,530億円
など

長崎の発展

～交流の産業化を進めます～

交流の都市 長崎

交流の形は、開港の時代、出島の時代、居留地の時代、上海航路の時代、国内観光の時代と形は変わってきていますが、長崎のまちは、一貫して「交流」によって産業・文化・学術・平和などさまざまな価値を生み出してきました。

交流によって栄えてきた歴史を継承して、これからの時代にふさわしい新しい長崎の交流スタイルを市民のみなさんといっしょにつくります

交流人口の増加



まちにあらたな顧客を生み出します

【外国人観光客の誘致】

・効果的な情報発信と受入態勢の整備

【MICEの誘致】

・ビジネスや学術研究などの目的で訪れる人の誘客

【富裕層観光客の誘致】

【交流のエリアの拡大】

・まちぶらプロジェクトなどの推進

まちに新しい価値を生み出します

【資源の磨き上げ】

・世界遺産や世界新三大夜景などの魅力をさらに活かしたまちづくりの推進

【サービスの向上と創出】

・新しいお土産品開発や水産練り製品のブランド化への取り組み

【人材の育成】



交流を支える都市の基盤を整備します

【陸・海の玄関口の整備】など

・新幹線開業に向けた長崎駅周辺の整備や、松が枝周辺での大型客船の受入態勢の強化

交流の産業化を進める体制をつくります

【長崎市版DMOの確立】など

・観光、商工業、農林漁業など幅広い産業の関係者を巻き込み、企業経営の手法で「観光地域づくり」を行う法人の確立（DMO：Destination Management/Marketing Organizationの略）

雇用の創出・所得の向上・定住の促進へ

交流の産業化によって、地域資源が磨かれ、あらたに「人を呼ぶ」好循環を作り出します

7月号では、「人口減少対策」について、詳しく紹介します。